

アジア国際社会福祉研究所 kara

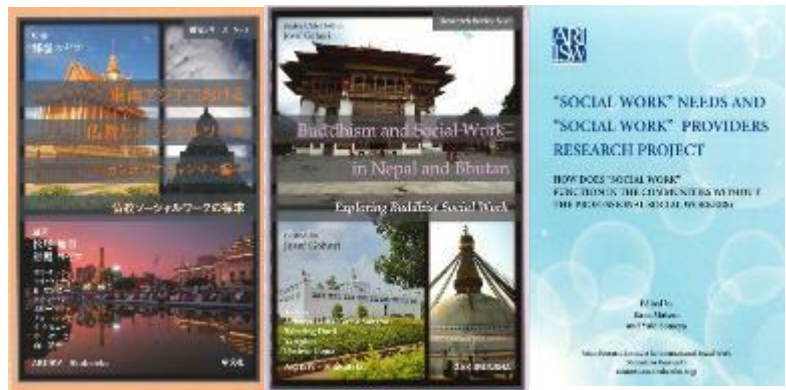
No. 52. 2023.4.14.

編集・発行責任者 戸塚 法子

研究叢書および報告書を発刊しました！

アジア国際社会福祉研究所(ARIISW)の研究成果として、2023年3月に研究叢書と報告書を新たに発刊いたしました。ARIISWは、仏教が生活の根底に流れている、アジアの10以上の国・地域を対象とした研究プロジェクトの成果として、2017年より研究叢書を発刊してまいりました。その新たな成果物が2023年3月に出版されました。第8号「東南アジアにおける仏教とソーシャルワーク—カンボジア・ミャンマー編」(日・英)と、第9号のネパール・ブータン編(Buddhism and Social Work in Nepal and Bhutan: 英文先行発刊)です。

加えて、「“ソーシャルワーク”ニーズと専門職に寄らない“ソーシャルワーク”提供者に関する調査(“Social Work” needs and “Social Work” providers research project: 通称「どこいく調査」)の英文報告書を発刊しました。この調査はコロナ禍により、研究所で企画する様々な現地調査を完全にストップせざるを得なかった2020～2021年にブータン、タイ、スリランカ、ベトナムの研究者の協力を得て実施されました。「ソーシャルワーク専門職がない場所で、人々はソーシャルワークが扱う困りごとを抱えた時にどこに相談に行くのか?」という共通の問いに対する4カ国の報告からは、専門職の代わりに、親族や村落のリーダーたち、行政機関(Government organization)・警察等の人々の相談に乗っている様子が見えました。また、コロナ禍でも途絶えることのない国際共同研究企画を、世界の研究者たちが求めていることもわかりました。この調査は相談先を聞くのみ、というシンプルなものでした。研究所では、どのようなサービスをどこで得られたのか等、もっと調査項目を精査、発展させていくことも重要であろうと考えています。今後の研究所活動にご期待ください。



◆アジア国際社会福祉研究所のニュースは当研究所のホームページよりご覧いただけます。

<https://www.shukutoku.ac.jp/university/facilities/asiancenter/>

◆淑徳大学内ではSナビにて月1回程度配布されます。